

下風呂温泉郷ゆかりの文人

大町桂月を語る会来村

下風呂温泉

磯近く 湯の宿高し

かじか花

十月二十六日、桂月の孫の大町芳章さん（七九）、妻、敬子さん、渡部会長（元十和田湖町長）始め十二名が桂月の足跡をたどり下風呂温泉郷を訪れた。

桂月は、大正十一年九月十日、下北郡役所の山本角次郎（退職後、東通村長）の案内で下風呂温泉郷を訪れ、紀行文「恐山半島の大断崖」で、次のように全国に紹介した大恩人である。

下風呂温泉に宿りけるが、ここは海辺の小市街にて、商家連なる。温泉宿は高く山に抛りて、十数軒もあり。青森県下にては、この下風呂と酸ヶ湯と岳温泉とを、硫黄温泉の三幅対となすとかや。酸ヶ湯は八甲田山にあり。岳温泉は岩木山にあり。この下風呂は海岸に在り。脂粉の気もみなぎる。海岸の硫黄温泉は常に青森県に其類なきのみならず。天下にも稀也。

その日記には、

蝦夷が島消ゆると見る間にいかつりのいさり火長く空につつも

いかつりの火 いかのさし  
下風呂④長谷旅館  
村長 佐々木正之助  
校長 木村東市

と記されている。

一行は、横浜村長、奥島校長、金森観光協会長の出迎えを受け、柴垣文化財審議会会長の説明で④旅館、桂月書の「君が代は 大漁豊年 盆踊り」、下北紀行時の記念写真その他かくれたエピソード等を説明し、一行は心からお礼を申し上げ仏ヶ浦へ出発した。



訃報

井上ふみさんご逝去

平成二十年十月十二日、井上ふみさん（享年九十八歳・作家故井上靖さんの妻）がお亡くなりになりました。

ご主人で作家の故井上靖さんが当地下風呂温泉郷に滞在して、小説『海峡』の終局を執筆。「いさり火の見える温泉」として紹介され、全国的に有名となるきっかけになりました。

このことがご縁となり、村では平成元年に『井上靖文学碑』を建立し、井上さんは除幕式にご家族でご来村、ご列席いただきました。

村に残された「文学碑」は、後世に語り継がれる財産となっています。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



除幕式ご列席時の井上ふみさん（前列左）